

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

わが市町村の  
ふるさと名物は  
**これ!**



斑鳩町マスコットキャラクター  
パゴちゃん

**奈良県斑鳩町**  
が応援するふるさと名物

世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物」を活かした散策・回遊型  
ツーリズム

『まちあるき観光』



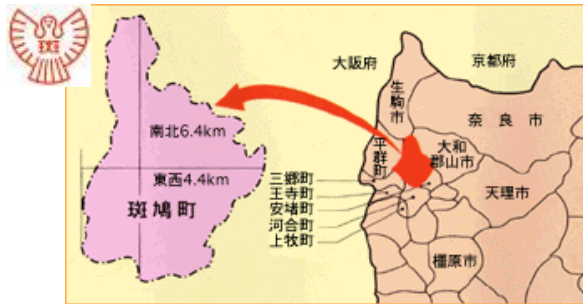


ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

応援宣言

## 奈良県斑鳩町

### 地域の プロフィール



斑鳩町(いかるがちょう)は、面積 14.27km<sup>2</sup>、人口 28,211人 (平成29年8月31日現在) で、奈良県北西部にあり、大阪市内まで30分と都会に近い田舎として、里山・田園風景などが豊富に残り「斑鳩の里」と呼ばれています。

飛鳥時代に聖徳太子が斑鳩宮を造営した地であり、世界最古の木造建築物を有する法隆寺や法起寺は「法隆寺地域の仏教建造物」として世界遺産に登録されています。

国宝や重要文化財を所蔵する中宮寺、法輪寺、「ぽっくり寺」として知られる吉田寺など有名な古刹や藤ノ木古墳などの史跡が多く、飛鳥時代から続く1400年の悠久の歴史文化に包まれた雰囲気があります。

また、南西部には百人一首に詠まれる在原業平の和歌「ちはやぶるかみよもきかず たつた川 からくれなゐに 水くくるとは」で知られ、「竜田揚げ」の名の由来となっているとも言われる紅葉の名所、竜田川が流れています。



## 1

### 活用する 地域資源

#### ◆世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物」

日本で最初に世界遺産登録となった世界最古の木造建造物である法隆寺や法起寺、法輪寺を合わせた三塔、皇室ゆかりの尼寺である中宮寺など、斑鳩町は多数の国宝や重要文化財を擁しています。斑鳩の里は聖徳太子が日本で初めて憲法制定するなど、太子の政治・文化・学問が花開いた地でもあり、飛鳥時代より連綿と積み上げられてきた斑鳩町の歴史文化そのものが観光資源です。

単に「歴史的伝承」を情報として知るのではなく、歴史にそってその背景も伝えることで、歴史を物語として体感することができます。



# 斑鳩町のふるさと名物の概要

## ◆世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物」を活かした 散策・回遊型ツーリズム『まちあるき観光』

斑鳩町には、法隆寺をはじめとした歴史的資源と一体となった自然環境や町並みがあり、歴史的建造物や伝統行事等、地域の固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出している良好な環境（歴史的風致）があり、斑鳩町独自の魅力となっています。

しかし、これまでの観光は法隆寺だけ拝観して帰ってしまう「点」型の観光であり、斑鳩町の魅力を観光資源として十分に活用できていないという現状があります。

こうした課題を解決し、「散策・回遊型」の『まちあるき観光』へつなげるべく、様々な取り組みがなされています。



# 斑鳩町のふるさと名物①

## 1

### ふるさと名物



地域資源である法隆寺周辺は聖徳太子の時代から積み上げられてきた伝統ある集落や町並みが固有の環境や景観を持っています。太子の息づかいまでも感じられそうな空間で、往時の趣や風情、文化を感じる歴史体験型観光プログラムを展開していきます。

#### ・ 三塔めぐり

飛鳥時代から奈良時代以前に建立され、斑鳩町にある聖徳太子とその一族ゆかりの仏塔である斑鳩三塔(法隆寺の五重塔、法起寺と法輪寺の三重塔)を巡り、悠久の歴史が感じられます。

#### ・ 法隆寺を舞台に行われる伝統行事

法隆寺西円堂の「鬼追式」や斑鳩神社の秋祭りなどといった伝統行事は、地域の人々が支え、これに参加することで引き継がれてきました。1400年以上前の固有の歴史や伝統を反映した人々の活動として、暮らしに息づいています。

#### ・ 地域資源を支え続ける『巧み』をたずねる

法隆寺作事に携わった宮大工が多く住んでいた西里。

法隆寺西大門から西の細い道に沿って両側にあたたか味のある土の色の塀が続き、歩くと不思議に安らぎを感じる町並みで観光者をもてなします。

また、宮大工棟梁として法隆寺の昭和大修理や、薬師寺金堂・西塔などの復興に多大な功績のあった故・西岡常一氏の仕事を通して、飛鳥時代から受け継がれていた寺院建築の技術や寺院を守ってきた人々の気概を感じることができます。



## 1

### 独自の支援策



#### ◆ 聖徳太子市

2021年に「聖徳太子1400年御遠忌」を迎える中、聖徳太子の建立した法隆寺の前で、町内の物産店と斑鳩町と交流のある市町村が新たな縁でつながることで、物産展を通じた、斑鳩町の観光・商工の発展につなげていくことを目的としたイベントを開催していきます。

#### ◆ いかるがWeeeeeek

「法隆寺」中心の観光からまちあるき観光への転換をはかり、様々な面から観光産業の魅力を発信することを目的として、11月23日（祝日）を含む、月曜日から日曜日までの1週間（7日間）においてイベントを開催しています。

各日、実行委員会に属する各種団体が自主的に企画、立案、運営を行い、参加と協働のまちづくりのモデルケースとなり、地域活性化の原動力となるように、今後も継続して取り組んでいきます。

遊ぶ・楽しむ・感じる

斑鳩  
★  
週間

いかるが  
Weeeeeek

## 2

### 独自の支援策

#### ◆いかるがの里・法隆寺マラソン 斑鳩三塔健康走ろう会

聖徳太子ゆかりの里として、世界遺産に登録された法隆寺をはじめ、史跡藤ノ木古墳、法輪寺、法起寺など歴史・文化に満ちあふれ、いかるがの里を十分楽しめるコースとなっています。歴史は古く、平成29年2月には「いかるがの里・法隆寺マラソン」は46回目、「斑鳩三塔健康走ろう会」は40回目の開催となりました。

こうした、歴史を肌で感じることでできるイベントの実施を応援していきます。



## 1

### 地域の取り組み



#### ◆まちあるきイベント「常楽市」の実施

法隆寺に一番近い商店街「東栄会商店街」が主催し、地元住民自ら出店運営するイベントを実施し、地元活性化と観光客誘致活動を行っています。



#### ◆「まちあるき」観光促進用マップの作成

観光客が地域周遊しやすい環境を整えるため「東栄会商店街」が主導で「奈良斑鳩まちあるきMAP」を作成。



## 2

### 地域の取り組み ◆ 小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業の推進

平成25年度に斑鳩町商工会が「大人の修学旅行～いかるがキャンパスプロジェクト～」の活動を開始。平成26年度には小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業（全国展開プロジェクト）として、斑鳩町全体を一つの大きな【キャンパス=学びの場】に見立て、様々な学部（観光プログラム）を準備。観るだけでなく、体験することで、斑鳩の魅力伝えていきます。

### ◆ 町家(古民家)を再生した古民家カフェを拡大

古い建物が多く残る斑鳩では、「まちあるき」する観光客や地元民がほっこりできる観光時のオアシスとして、空き家になっている古民家を再生した趣溢れるカフェが誕生しており、さらにまちあるき観光をすすめるために、新たな出店を応援しています。



# 関係機関と連携した取り組み

**観光協会や商工会、地元民間企業、観光ボランティア団体などと連携し、以下の取り組みをすすめていきます。**

## ◆観光インフラ整備

各観光施設間の距離が離れていることや、法隆寺から他の観光施設までのルートがわかりにくいといった現状があります。こうした課題を解決するため、観光ルートサインの整備や、レンタサイクルをはじめとする2次交通の整備をすすめていきます。

## ◆PRの充実化

東京や名古屋・大阪などでのPRイベントへの積極的な参加、公共交通機関や高速道路SAでの広告やタイアップ、SNSを活用した斬新な情報発信方法の検討をすすめていきます。

## ◆国内外の観光客へのおもてなし

聖徳太子1400年御遠忌の2021年をひかえ、法隆寺を中心とした斑鳩町のさまざまな「魅力・価値」を伝え、活用することがより一層重要となっています。吉田寺をはじめとする一部の寺社では御朱印帳作成体験や写経体験などが実施されていますが、国内外の観光客に斑鳩町をさらに楽しんでいただけるようなモデルコースの検討や、体験プログラム、多言語対応のパンフレットなどの充実をはかります。



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

**応援宣言**



**斑鳩町長 小城 利重**

本町は、聖徳太子が宮を造営した地として、法隆寺、法起寺など多くの寺社をはじめとする、歴史的な景観と豊かな自然（歴史的風致）、さらには四季折々の美しい風景に恵まれたまち「斑鳩の里」として親しまれてきました。

こうした豊富な歴史的・文化的資源をまちあるき観光につなげ、まちのにぎわいを創出し、後世に継承すべく、「斑鳩町歴史的風致維持向上計画」や「斑鳩町観光戦略」を策定するなど、まちづくりを進めているところです。

さらに、地元民間企業や地元住民によるまちあるき観光への取り組みが既に行われており、町全体としてのまちあるき観光の拠点づくりにむけた機運が高まっています。

本年度は斑鳩町制70周年をむかえ、2021年には聖徳太子御遠忌1400年をむかえます。観光が本町の重要な産業として育ち、「斑鳩の里」の魅力をより多くの方に知っていただけるような取り組みを応援するとともに、さまざまな形のおもてなしで、「斑鳩の里」へのたくさんの人々のお越しをお待ちしています。